



提供いただいた服を持つ中嶋さん(左)と、KASANEOの活動を紹介します交流雑誌を見せる小宮山さん(右)

多世代交流イベント「KASANEO FES」開催

地域連携学生プロジェクト「KASANEO」

高齢者から若い頃に来ていた衣服を「思い出」と共に提供いただき、それを学生たちが今の感覚を加えてファッションショーや展示会、雑誌で紹介するKASANEO。服を「物」として扱うのではなく、持ち主の「思い出」という付加価値を付けて発信し、人とひととを繋ぐツールにしています。世代や大学を超えたメンバーが目指すのは、誰もが自然に交流できる場をつくること。本学にて11月28日(木)、29日(金)、30日(土)の3日間で開催する展示会と最終日に行うKASANEO FES(カサネオフェス)の内容や見所を、小宮山 葵紗さん(総合社会学部1回生)と中嶋 桃花さん(総合社会学部1回生)の2人に話を伺いました。

—2人はKASANEOに所属してまだ5カ月ということですが、KASANEOに入ろうと思ったきっかけは？

小宮山：地域学生連携プロジェクトの体験でKASANEOに参加してみて、古着や高齢者の方と関わる機会があることに惹かれたのがきっかけです。初めてイベントを考えるという経験したのですが、考えなければいけないことが多く苦労しました。ただ、その分成功したときの喜びも大きく、楽しみながら活動しています。

中嶋：もともと古着が好きで、古着と今のファッションを併せる活動に興味を惹かれました。また、高齢者の方とお話をさせていただき、当時のファッションについての話を聞ける機会は貴重でした。古着を提供してくださった方と話をしたとき、自身の古着のコーディネート褒めていただけるのも非常にうれしく思いました。この喜びをもっと他の学生にも知ってもらい、多世代での交流ができればいいなと思っています。

「展示会」と「KASANEO FES」

—今後の活動を担っていく期待の星の2人ですが、今回のイベント(KASANEO FES)の内容と目的は？

小宮山：服の周期は20年で一周するといえます。私たち学生と高齢者の方では、その周期が合っており、高齢者の方が若い頃に着られていた服は、今のファッションとしても見劣りせずとてもおしゃれです。京都文教大学には、65歳以上の宇治市民を対象にした「宇治市高齢者アカデミー」があります。しかし、同じキャンパスで学ぶアカデミー生の方とお話する機会はあまりなく、もっと多世代間での交流があればと思っていました。私たちはこの活動を通じて、高齢者の方とファッションの話や大学の話をすることで交流できていますが、他の学生との関りは多くはありません。他の学生も交流ができればと思い、このイベントを企画しました。

中嶋：イベントは、展示会とファッションショーの2つがあります。展示会は、高齢者の方からいただいた古着を今どきのファッションと合わせ、どういった場面・どういう想いでその服を着ていたのか、ということを書いた「思い出ラベ

ル」というものを作成し、紹介しています。また、会場は「樹心亭」という大学内にある茶室を使い、中には休憩スペースを設けて多世代交流を図る場にしています。ただ思い出の詰まった服を展示するのではなく、実際に提供者のお話を聞いて参加者との交流が生まれていけばと考えています。

ファッションショーでは、思い出の詰まった服を学生がモデルとして着こなしてランウェイを歩きます。ただ服を見てもらうだけではなく、持ち主の「思い出」も紹介して気になった服があれば、その思い出の提供者と交流できる機会も設けており、参加して下さった方々を飽きさせない工夫をしています。

古着を通じた多世代間の交流

—最後に当日に向けた意気込みをお願いします。

小宮山：参加して下さった方と、衣服を提供して下さった高齢者の方との多世代交流が生まれていくことを一番に考えています。そのため、展示会での交流スペースの設置や、ファッションショーで思い出の紹介を行うことで交流しやすい環境を作っています。このイベントに関わる方みんなが楽しんでいただけるようなイベントにしていきたいので、当日はぜひご参加ください。

中嶋：自分自身、古着が好きで、その好きな古着世代の高齢者の方と話をできるのは非常に有意義です。なので、古着に興味がある方、高齢者の方とお話したいという方はぜひお越しください。私たちが考えた古着のコーディネートにもご期待です。当日のご参加お待ちしております！

KASANEO展示会

日時：11月28日(木)、29日(金)、30日(土)

会場：京都文教大学 樹心亭

KASANEO FES

日時：11月30日(土) 15:00~18:00

会場：京都文教大学 サロン・ド・パドマ